

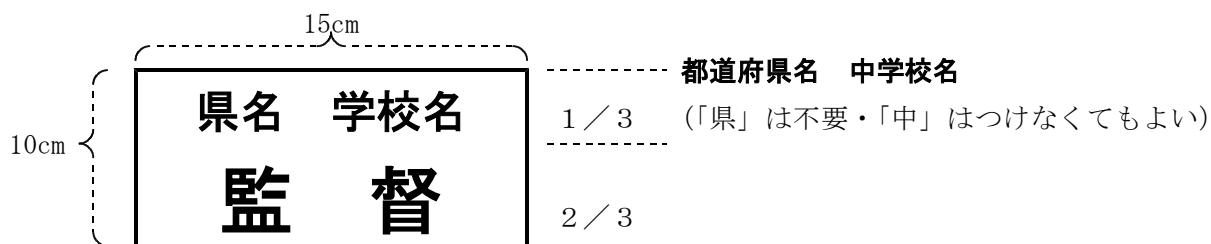
平成28年度 九州中学校体育大会  
第47回九州中学校ソフトテニス競技大会  
申し合わせ事項

- 1 団体戦のオーダーは、各試合ごとに2部作成し、大会本部と対戦相手校に提出する。
- 2 個人戦競技前に、個人戦監督会議を行う。
- 3 選手・監督・コーチの服装、用具の色は、華美に流れないようにし、蛍光色はさける。新たなデザイン等を入れないこと。服装から出るアンダーシャツやスパッツの着用は認めない。競技中、シャツの裾を外へ出したり、袖をまくることはしない。
- 4 ソックスは、くるぶしより上、ハイソックスではないものとする。また、鉢巻きには正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、鉢巻きの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子、サンバイザーもこれに準ずる。
- 5 団体戦の場合、監督・コーチは挨拶に立ち会うこと。
- 6 空きコートでの練習は認めない。
- 7 ストリングに装着する衝撃吸収材は使用しない。ストリングは単色とする。
- 8 コート内の飲食は禁止とする。ただし、プレーヤーに限り、ベンチでの給水は認める。2・4ゲーム終了後とファイナルゲームのチェンジサイズ時も、熱中症対策のために指定された場所（審判台付近）での給水を、遅延行為・サイドコーチの対象とならない範囲において認める。
- 9 個人戦予選リーグにおいて、ハンドブックに記された範囲まで同点だった場合（三つどもえ）は、ファイナルゲームで再試合を実施する。それでも決まらなかった場合は抽選で決める。
- 10 ゼッケンについては、次のとおりとする。

【監督・コーチのゼッケン】

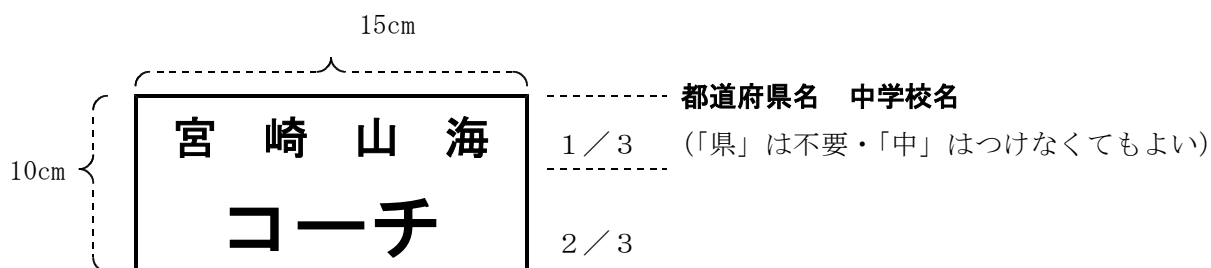
- (1) ゼッケンの大きさは、縦10cm×横15cmの布製とする。県名、学校名（校名の後に中の文字はなくてもよい）、監督またはコーチと記述する。
- (2) ゼッケンの文字は「漢字」または「ひらがな」「カタカナ」を使用する。
- (3) 県名、学校名の表記の仕方は、選手に準ずる。学校名に「中」はつけなくてもよい。

《例1 監督のゼッケン》



《例2 コーチのゼッケン》

宮崎県 宮崎市立 山海中学校

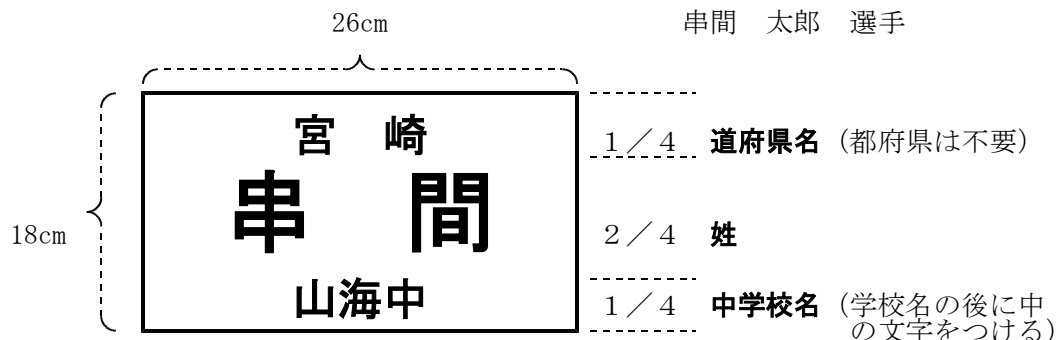


【選手のゼッケン】・・・B 5 版大 横〈白地〉（縦約18cm×横約26cm）

- (1) 背中ゼッケンの表記については、届け出たとおりの表記とし、文字は「漢字」または「仮名」を使用し、独自の『ひらがな』『カタカナ』『ローマ字』などは使用しないこと。文字色は「黒」とする。
- (2) 背中のゼッケンは、B 5 版大横〈白地〉（縦約18cm×横約26cm）の大きさのものに都道府県名、校名と姓を書く。県名の「県」の文字はつけないものとする。中学校は「中」と表記する。また、別の布で作られたもので縫いつけること。脱着に都合のよいようにホック(スナップ)等で留めることは許可する。
- (3) 背中のゼッケンをシャツそのものへプリントすることは認めない。
- (4) 背中のゼッケンで同名の学校がある場合には、区別をするために学校名の工夫をしてもよい。ただし、各地区ごとに望ましい表記をすること。
- (5) 背中のゼッケンの文字の位置は、下図例3のとおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名の1文字(一部)を付け加えること。
- (6) 中学校名が第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合、学校名をわかりやすくするために、下図例4のように学校所在地を付記してもよい。
- (7) 学校名が「〇〇中学校」の場合は〇〇中と表記し、それ以外の「〇〇学園中等部」等の学校については中をつけずに、適当な表記で表現する。
- (8) 下図のように（公財）日本ソフトテニス連盟で示されている三段とする。

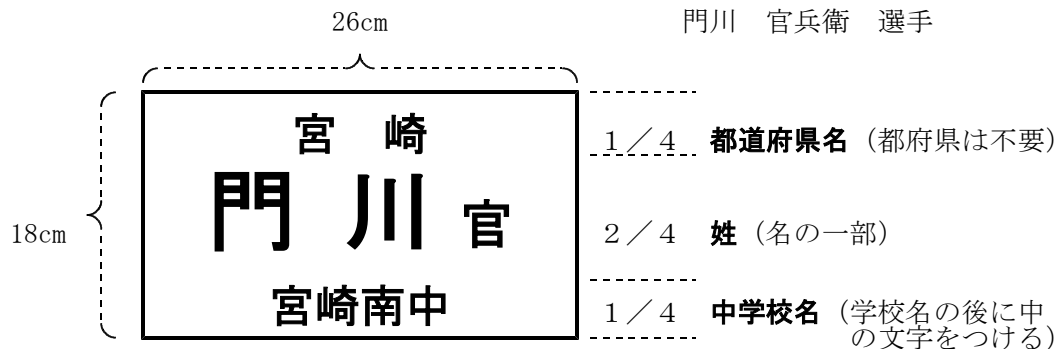
《例3 選手のゼッケン》

宮崎県 宮崎市立 山海中学校  
串間 太郎 選手



《例4 同姓選手のいる場合・学校所在地を付記する場合》

宮崎県 宮崎市立 南 中学校  
門川 官兵衛 選手



- 11 監督は、本大会要項および細案・申し合わせ事項・競技上の注意・会場使用上の注意やマナー等について、その関係するすべての生徒・保護者を含む大会参加者に周知徹底させるものとする。